

日本 MOT 学会 2019 年 1 月度セミナー

共催 日本 MOT 学会, 日本 MOT 振興協会, 科学技術と経済の会
北陸先端科学技術大学院大学

グローバル R&D への取り組みと挑戦

MOT に関心をお持ちの皆様には日頃から多大のご支援をいただきありがとうございます。今般, 東洋製罐菊地 隆之氏, 元 富士通/現 中央エンジニアリング顧問 小島 康様と掲題のテーマにてパネル・ディスカッションを行うことになりました。多数の皆様のご参加をお待ちいたします。

日時: 平成 31 年 1 月 18 日 (金) 19:00~21:00

場所: 北陸先端科学技術大学院大学(JAIST) 東京サテライト

<http://www.jaist.ac.jp/satellite/sate/access/>

演題: グローバル R&D への取り組みと挑戦

講師: 菊地 隆之 氏

(東洋製罐株式会社 テクニカルセンター 主席部長)

小島 康 氏

(中央エンジニアリング株式会社 顧問, 元富士通株式会社 ネットワーク事業本部 統括部長)

野元 伸一郎 (コーディネーター)

(日本 MOT 学会 企画委員, みらい株式会社 統括本部ディレクター, 元日本能率協会コンサルティング グローバル開発革新センター長)

要旨:

少子高齢化に伴う日本マーケットの縮小、人材確保の難しさから、日本以外にマーケットを求め、かつも R&D 拠点 (研究所、開発設計機能、生産技術機能) を海外にも構築する日本企業も増えてきた。しかし、これらの企業は、様々な理由から必ずしも成功していると言い難い。

本セミナーでは、グローバル R&D の事例・パターンを検証して、今後、日本企業がグローバル R&D を推進する上での重要ポイントについて、講師が取り組んだ事例や見識をふまえて、セミナー参加者の方との議論を通じて深堀りを行う。

講師経歴:

菊地 隆之 (きくち たかゆき) 氏

1991 年 3 月東京理科大学工学部電気工学科卒業、東洋製罐株式会社に入社、電気設計者として社内や顧客のプラント立ち上げ、また新事業である RF-ID タグビジネスの構築に尽力した。近年は ASEAN ビジネス拡大に向けて、タイ、ベトナム、ミャンマー等で、拠点強化、顧客開拓、技術対応等の取り組みを行っており海外事業での豊富な経験をもつ。

小島 康 (こじま やすし) 氏

1979 年早稲田大学工学部機械工学専攻修士課程修了、富士通株式会社に入社。ネットワーク伝送装置の実装設計に携わる。その後、アメリカの Fujitsu Network Communications Inc.にて、Senior Director Physical Design & Component Quality Dep.として活躍した。帰任後、ネットワーク事業本部にて統括部長の要職を務めた後、中央エンジニアリング株式会社の顧問に就任、品質管理責任者として活躍している。

参加対象:

日本 MOT 学会員，日本 MOT 振興協会会員，科学技術と経済の会，JAIST 学生，JAIST 本校および東京社会人コース関係者（**参加費無料**）。1月11日（金）までに下記申し込みページからエントリーをお願いします。なお、会場の席数により、定員（40名）を超えた場合は参加をお断りする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

申し込み：

日本MOT学会ホームページ：<http://www.js-mot.org/>（掲載の入力フォームにて申し込みをお願いします）

募集人数：40名（申し込み先着順）

申し込み〆切：1月11日（金）

なお、席に余裕のある場合は、一般の方の参加も受け付けますが、参加費として2,000円を徴収させていただきます。不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

問い合わせ先：

野元伸一郎 shinichiro.nomoto@go-mirai.jp（日本 MOT 学会 企画委員／みらい株式会社 統括本部ディレクター）